

バックアップ アプライアンス Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズの ご紹介

arcserve Japan 合同会社

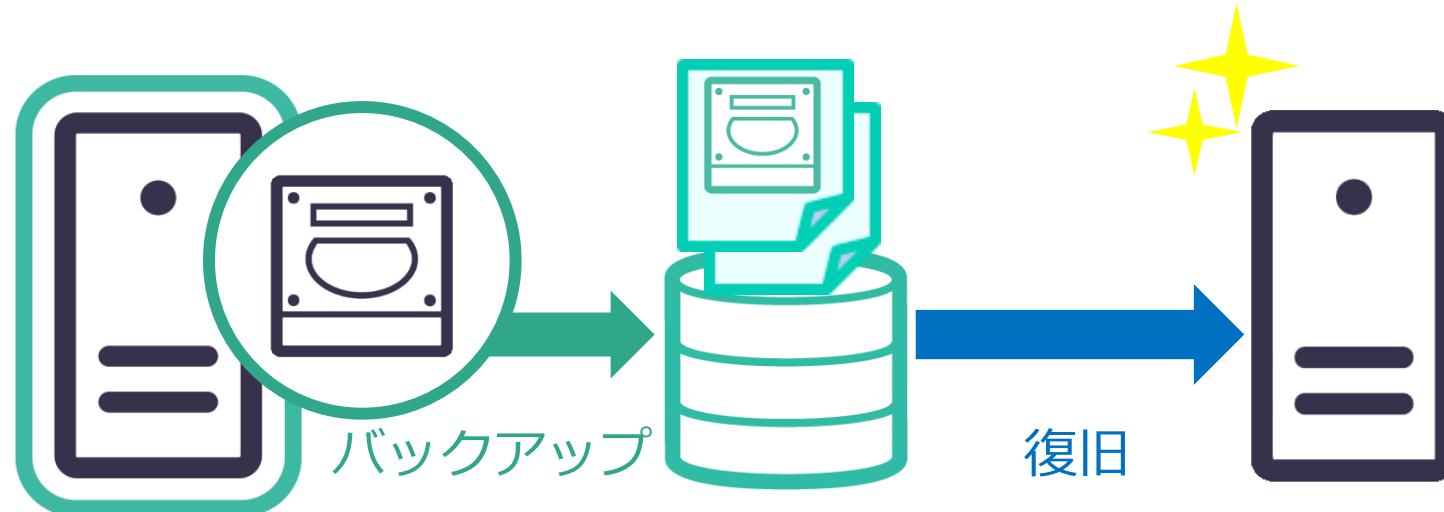
2026年1月

Rev 1.0

超簡単イメージバックアップ Arcserve UDP

イメージバックアップとは

イメージバックアップとはファイル単位ではなく、ハードディスク全体を丸ごとバックアップし、ファイルに保存するデータ保護手段。OSを含め一気にリカバリできるのでシステム全体を簡単に復旧できます



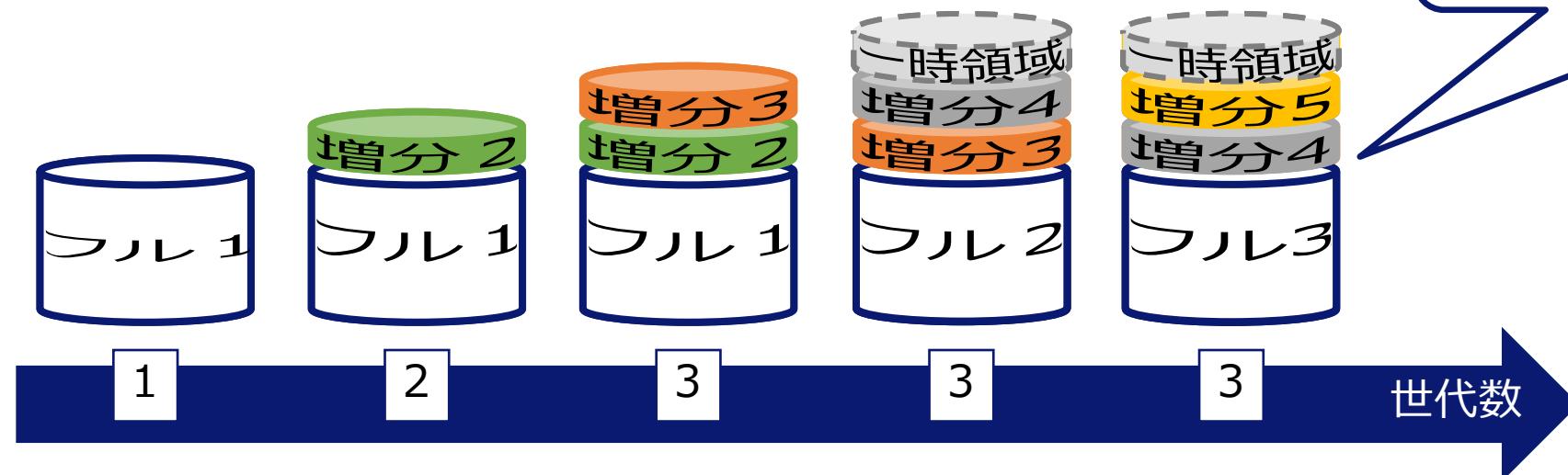
Arcserve UDP が選ばれる理由 ①：短いバックアップ時間

Arcserve UDPなら**フルバックアップは初回だけ**。以降は増分だけなので効率的！！

- バックアップの世代数が設定された数(※)を超えた際、最も古い増分とフルを合成させてフルバックアップの世代を更新

バックアップを3世代保存する場合

指定した保存数を超えると最も古い増分データを合成（マージ）

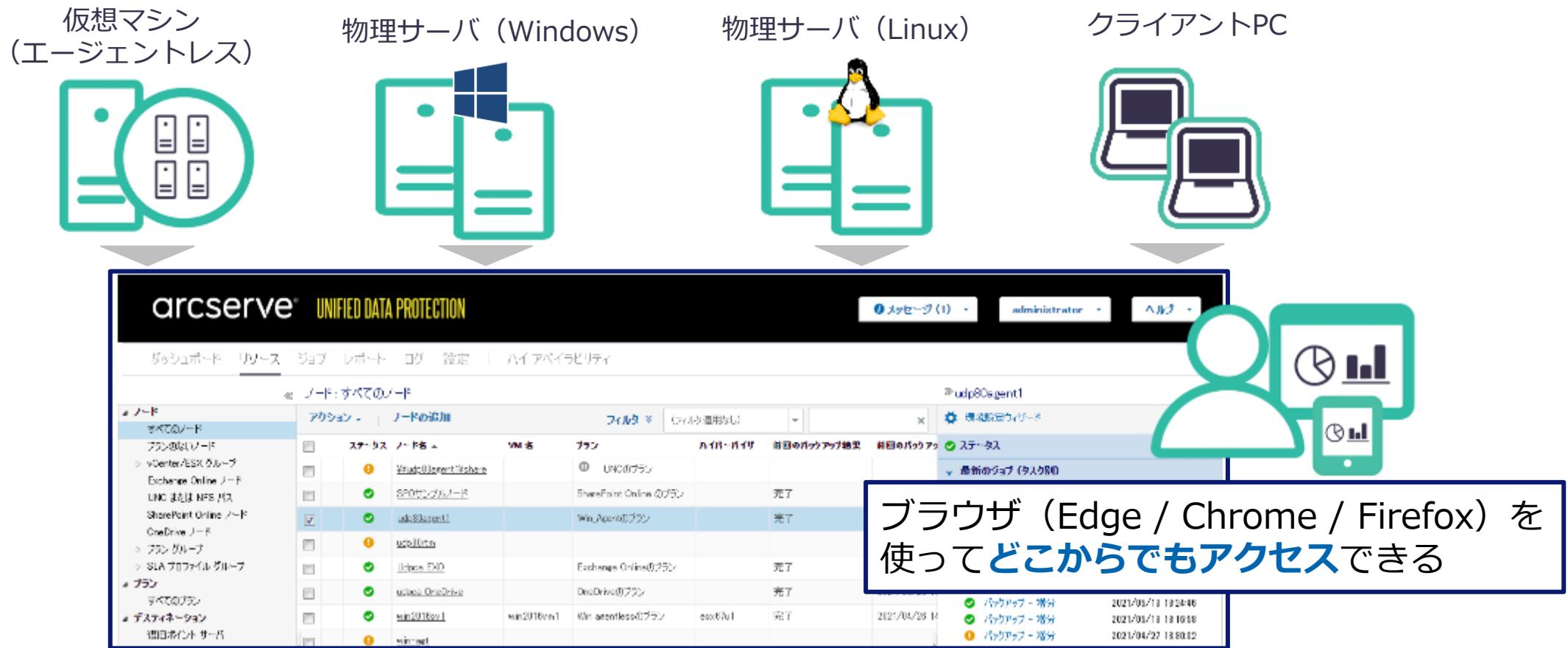


<事例> 霧島酒造様のバックアップデータ量推移



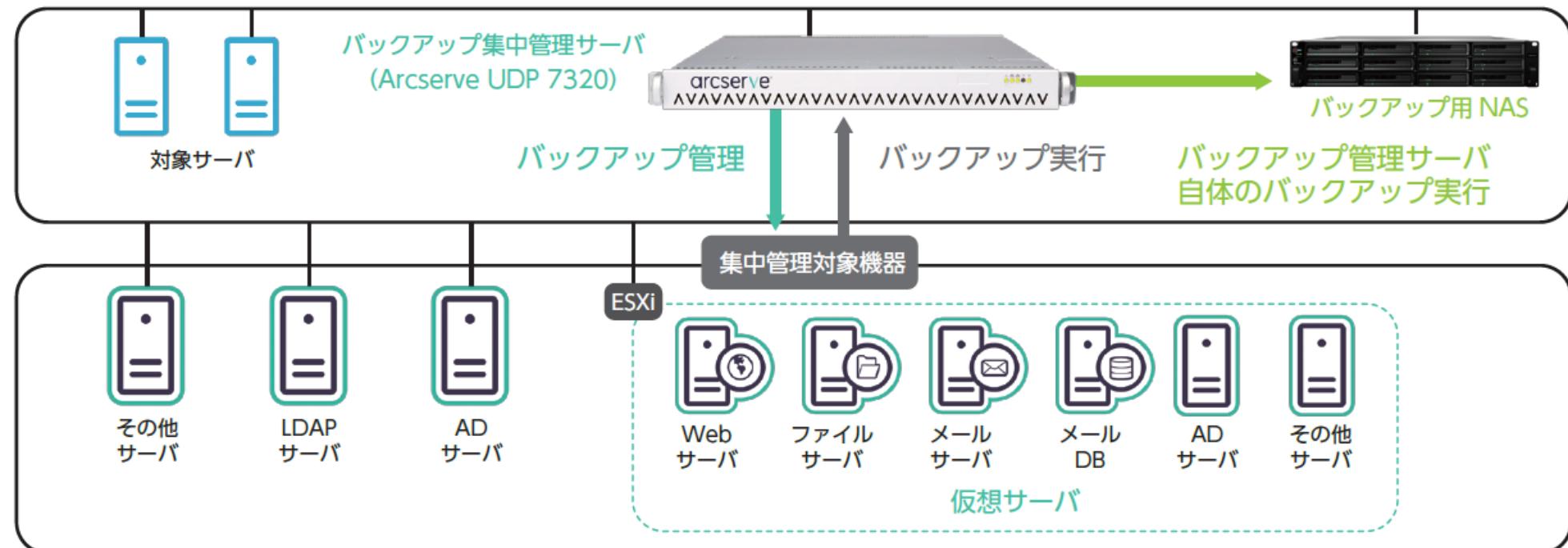
Arcserve UDP が選ばれる理由 ②：管理が楽

単一のコンソールで Windows/Linux、物理/仮想、バックアップ/レプリケーションをまとめて管理！
複数の製品を覚える必要はありません。



<事例> 甲南女子大学様のバックアップ構成

サーバごとにバラバラに行っていたバックアップを Arcserve UDP Appliance へ**一元化**！！
導入以前は**数日**かかっていたメールデータ復旧作業が**20分**程度に短縮！！



Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズとは？

Arcserve UDP をプリインストールしたバックアップ専用アプライアンス。
ストレージ容量 **8TB～80TB** の 6 モデルを用意しています。

従来モデルの 9000 v2 シリーズからライセンス体系を変更し、
5年間有効なサブスクリプション ライセンスが同梱^{*1}されています。
Premium Edition 搭載モデルを新設し、**高度な機能がお求めやすく**なりました。



Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズ ここがすごい！

1、インストール不要の簡単セットアップ

バックアップ/リカバリに必要な管理コンポーネントはすべてインストール済。 ウィザードに従い
基本的な設定をするだけですぐに使えます。

2、バックアップ用に最適化されたハードウェア

重複排除機能用の SSD を標準搭載。**メモリ/SSD のサイジングが必要ありません。**
バックアップ先の容量を 8TB ~ 80TB の間で選ぶだけ！

3、Arcserve UDP のライセンスを使い放題

バックアップ対象の数や容量に関わらず、Arcserve UDP Advanced Edition / Premium Edition
のライセンスが使い放題。 後から**サーバ台数が増えても安心**です。

Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズ メンテナンス内容

- ・ 納品から**5年間**の使用権とメンテナンスが標準セット
- ・ サポートへのお問い合わせはソフトウェア版と同じ窓口で対応
- ・ ハードウェア故障には**オンサイト** (現地訪問) 対応が可能
(現地訪問は問題特定から4時間駆けつけ目標※)
- ・ Arcserve UDP の**無償アップグレード**が可能 ※※

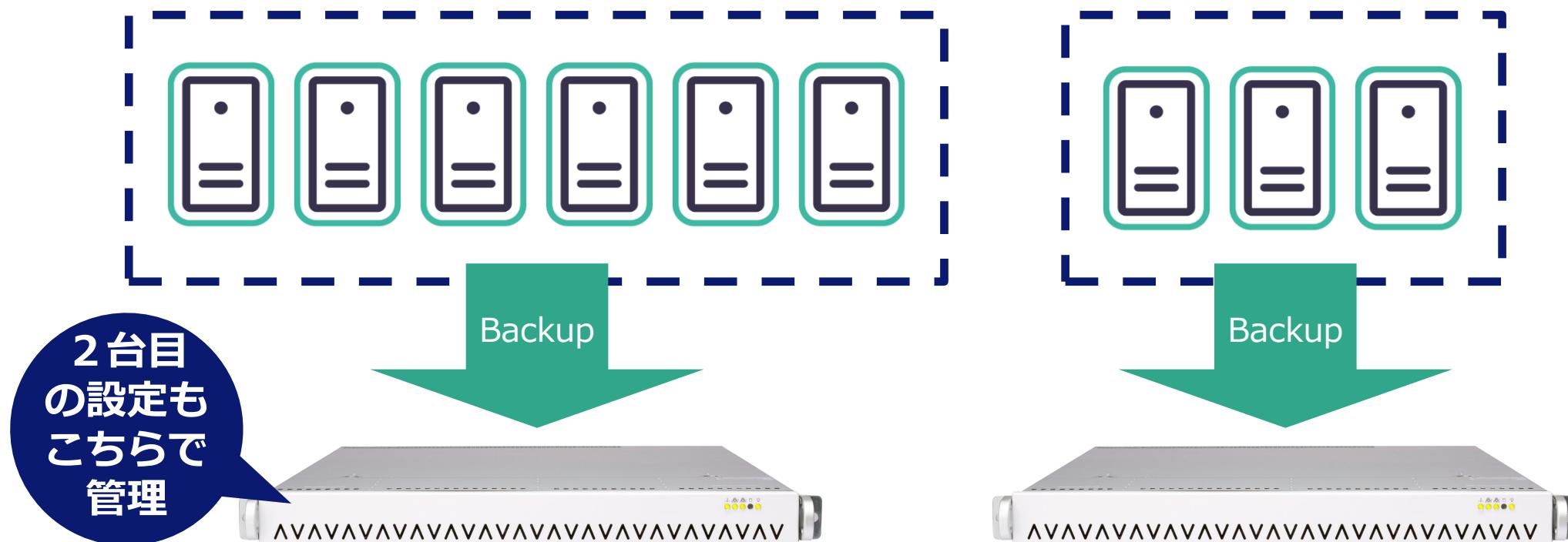
- ※ サービス拠点(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)より30km圏内での目標となります。
- ※ サポートの受付/作業時間は平日9時～17時30分です。ハードウェア サポートの受付/作業時間を延長する「24時間/365日 ハードウェア サポート オプション」もあります。
- ※※ アップグレード作業はお客様にて実施いただきます。

バックアップ容量がオーバーしたら？

Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズは台数を増やしてスケールアウトが可能。

2台目以降の バックアップサーバも1つの画面で**統合管理**できます！

1台目の Arcserve UDP 9200 v2 S でバックアップ[°] 2台目でバックアップ[°]



ストレージ/テープへの接続

イーサネット、SAS、FCなどのカードを増設できます。

より**高速**なバックアップ/リストアや、**テープデバイス**への2次バックアップが可能になります。

[Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズ (1U) 背面パネル]

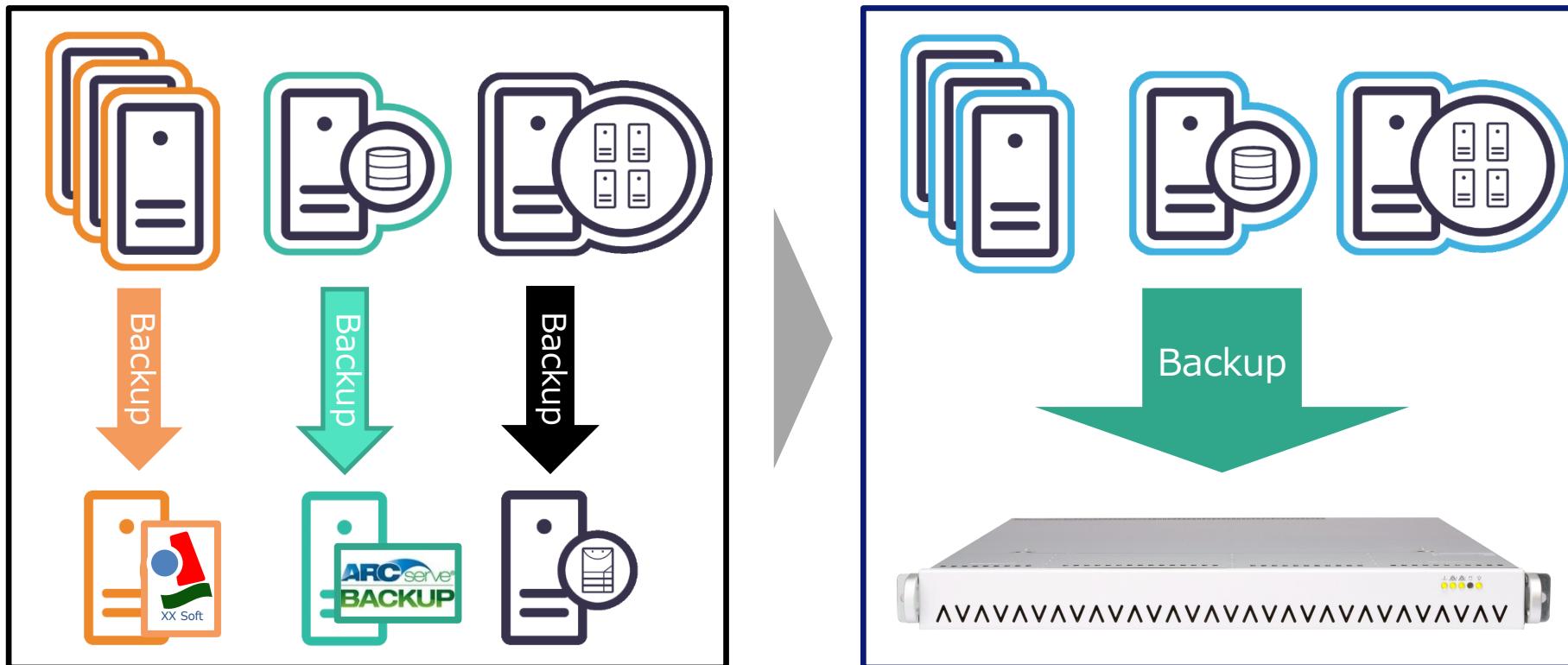


PCI-E 3.0 増設スロット

- ※ 増設カードはオプションとして購入する必要があります。
- ※ 1Uモデルは最大2つ、2Uモデルは最大5つ増設できます。

(利用例 1) 混在環境の統合管理

システムごとにバラバラで、時間がかかったバックアップの運用管理を
Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズで **シンプルに統合** できます！



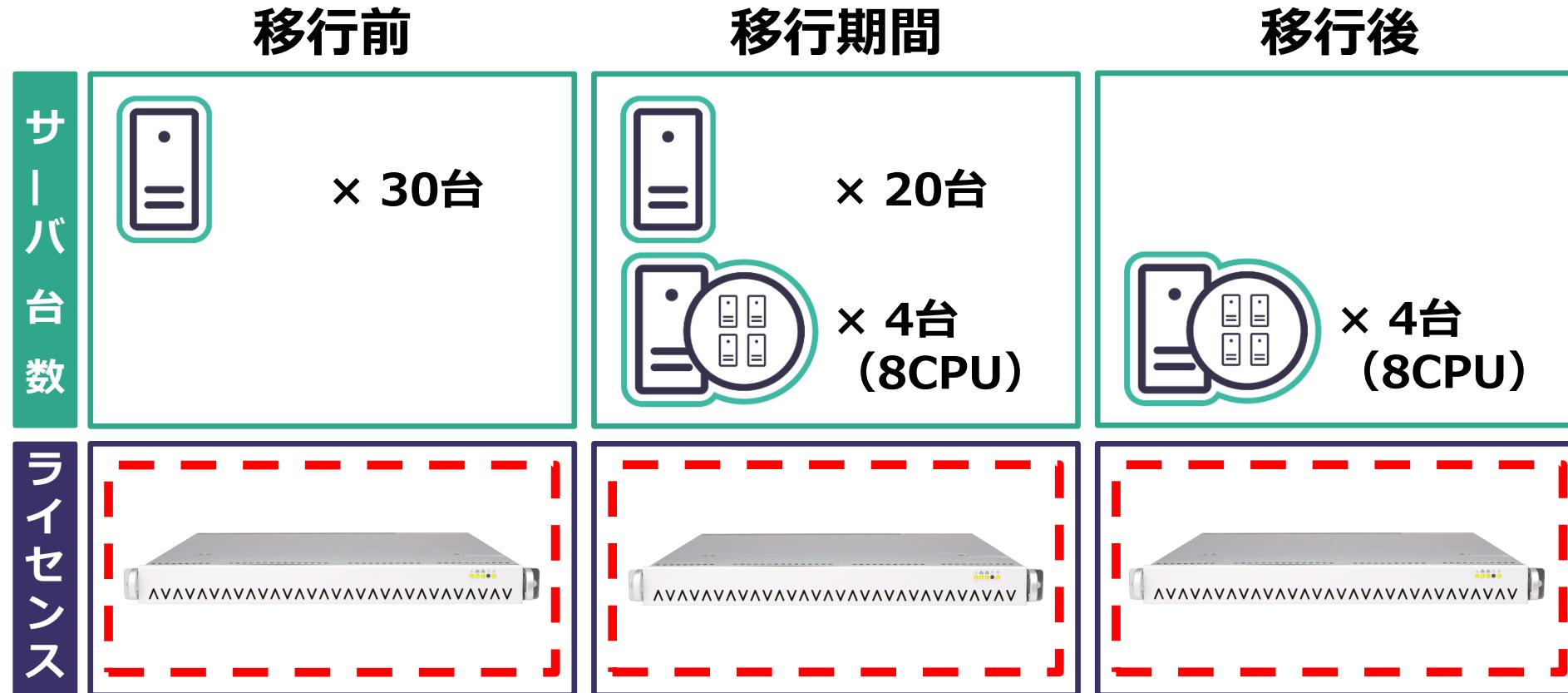
(利用例 2) 仮想化基盤の移行を検討中のお客様へ

バックアップ対象に対して課金されるライセンス体系だと、過渡期に無駄が出る可能性がありました。

	移行前	移行期間	移行後
サーバ台数	 × 30台	 × 20台 × 4台 (8CPU)	 × 4台 (8CPU)
ライセンス	UDP per Server ×30	UDP per Server ×20 UDP Per Socket ×8	UDP Per Socket ×8

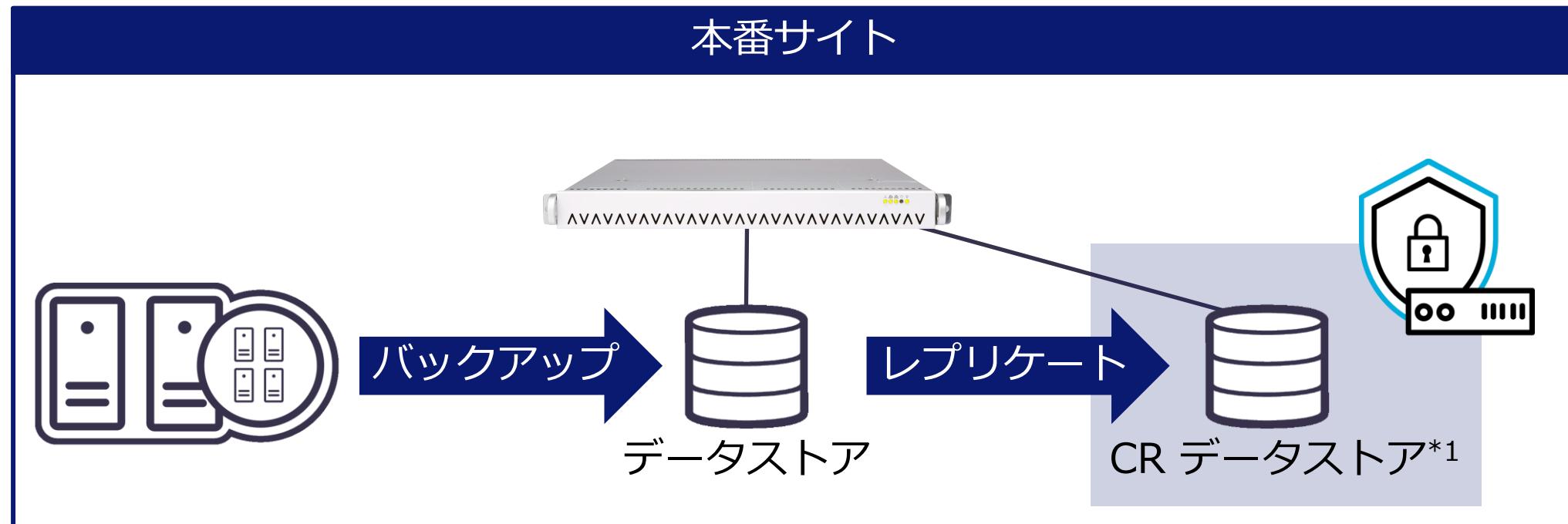
(利用例 2) 仮想化基盤の移行を検討中のお客様へ

ライセンスが使い放題の Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズなら
移行前も移行期間も移行後も**無駄なく**そのまま使えます！



(利用例 3) イミュータブル ストレージへ二次バックアップ

ランサムウェア攻撃に備え、Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズ内の 1 次バックアップ データを
イミュータブル ストレージ Arcserve Cyber Resilient Storage (CRS) にレプリケート



*1 サイバー レジリエント データストアの略

参考：[イミュータブル ストレージ Arcserve CRS シリーズの紹介資料](#)

Arcserve UDP 9200 v2 S / 9220 v2 S ハードウェア仕様

	Arcserve UDP 9200 v2 S	Arcserve UDP 9200-6 v2 S	Arcserve UDP 9220 v2 S	Arcserve UDP 9220-6 v2 S
オペレーティングシステム	Windows Server 2022 Standard Edition			
ストレージ容量 (RAID設定)	12TB (RAID5)	8TB (RAID6)	24TB (RAID5)	16TB (RAID6)
ハードディスクドライブ	4TB SAS × 4			
ソリッドステートドライブ (重複排除用)	240GB SSD			
プロセッサ	Intel Xeon Silver 4310T, 10コア 20スレッド, 2.3 GHz			
RAM	32GB			
IPMI & ネットワークインターフェース	IPMI x 1 & 10 GbE (RJ45) x 2			
拡張スロット	PCI-E 3.0 スロット × 2 にオプションのSAS/FC/イーサネットカードを増設可能			
寸法 (H x W x D)	4.3 x 43.7 x 65cm (1U - 19" ラックマウントレール付)			
重量	最大14.8kg			
電源ユニット	700/750W x 2 (リダンダント)			
消費電力 (起動時/アイドル時/高負荷時)	308W(311VA)/134W(138VA)/226W(228VA)			
電源定格	100v-240v AC 50/60Hz			

(※ 1 TB = 1,000,000,000,000 バイト)

Arcserve UDP 9400 v2 S / 9420 v2 S ハードウェア仕様

	Arcserve UDP 9400 v2 S	Arcserve UDP 9420 v2 S
オペレーティングシステム	Windows Server 2022 Standard Edition	
ストレージ容量 (RAID設定)	40TB (RAID6)	80TB (RAID6)
ハードディスクドライブ	4TB SAS × 12	8TB SAS × 12
ソリッドステートドライブ (重複排除用)	960GB SSD	1920GB SSD
プロセッサ	Intel Xeon Silver 4310T, 10コア 20スレッド, 2.3 GHz x 2	
RAM	64GB	
IPMI & ネットワークインターフェース	IPMI x 1 & 10 GbE (RJ45) x 2	
拡張スロット	PCI-E 3.0 スロット × 6 にオプションのSAS/FC/イーサネットカードを増設可能	
寸法 (H x W x D)	8.9 x 43.7 x 64.7cm (1U - 19" ラックマウントレール付)	
重量	最大25.8kg	
電源ユニット	1000/1200W x 2 (リダンダント)	
消費電力 (起動時/アイドル時/高負荷時)	694W(698VA)/280W(284VA)/461W(464VA)	
電源定格	100v-240v AC 50/60Hz	

(※ 1 TB = 1,000,000,000,000 バイト)

arcserve®

選べる2種類の Edition

Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズでは **Premium Edition 搭載モデル**を新設！
企業/組織のデータレジリエンスを高める機能が手軽に使用できます。

Edition 別機能一覧	Advanced	Premium	利用できる製品
イメージバックアップ / 共有フォルダ (CIFS/NFS *1) のバックアップ	●	●	
バックアップデータの重複排除や転送 (レプリケート)	●	●	
統合管理	●	●	
仮想マシンのエージェントレスバックアップ (vSphere/Hyper-V/AHV *1)	●	●	
仮想スタンバイ/インスタン VM	●	●	
バックアップデータのテープ保管 (D2D2T)	●	●	
VSS ライタを利用したアプリケーションのオンラインバックアップ	●	●	Arcserve UDP
アシュアードリカバリとSLAレポート	●	●	
役割ベースの管理		●	
ハードウェアスナップショット対応 (NetApp/Nimble/3PAR/DellEMC Unity)		●	
Oracle RMAN と連携したバックアップ		●	
アシュアードセキュリティ (マルウェアスキャン / AI異常検出)		●	
クラウド (AWS/Azure/Google Cloud) データストア		●	
Arcserve Backup すべての機能/全エージェント/全オプションの利用 *2		●	Arcserve Backup
Arcserve Replication ファイルサーバのデータ複製		●	Arcserve Replication

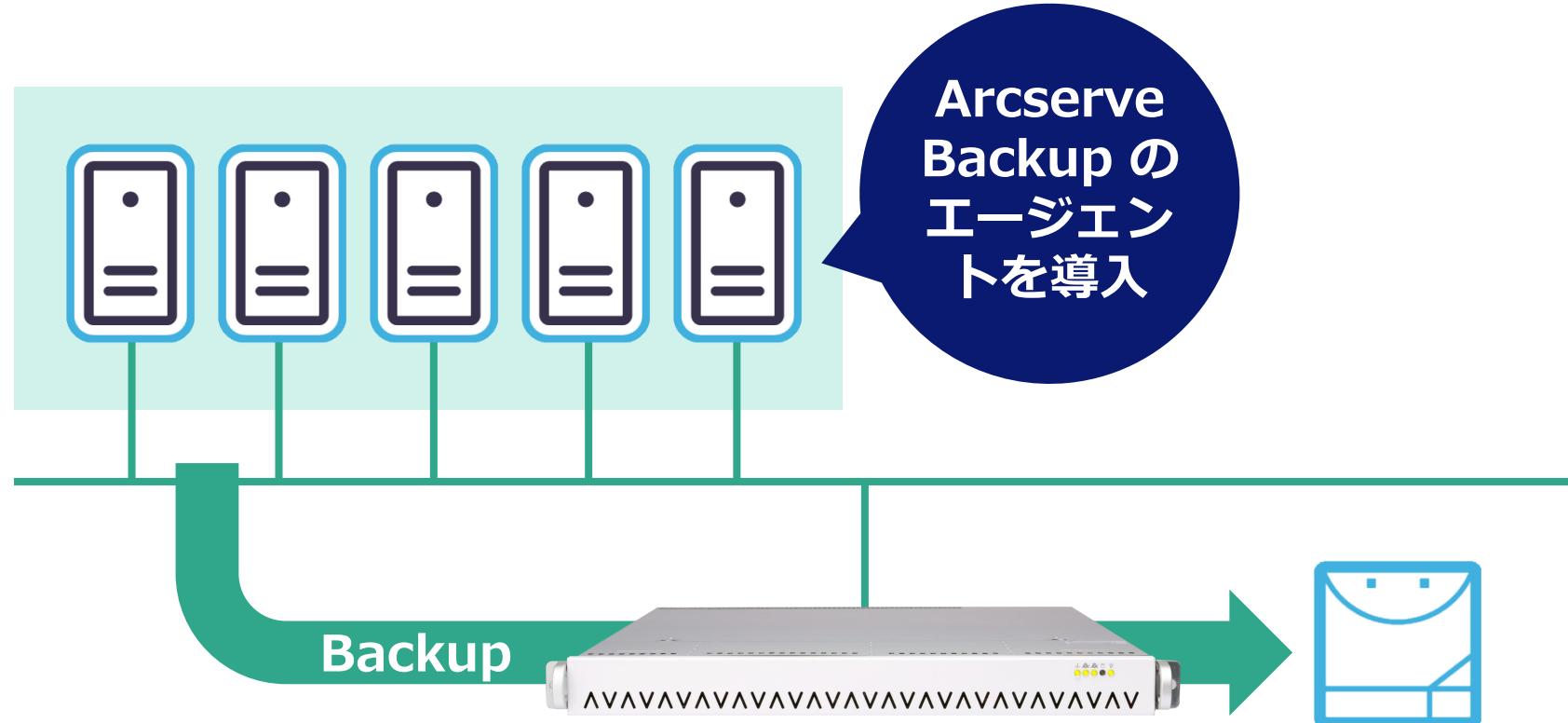
*1 : 購入時に申請いただく事で、AHV 上の仮想マシンまたは Nutanix Files のバックアップを行うための Advanced Edition for Nutanix ライセンスを提供いたします。

*2 : 「すべての機能/全エージェント/全オプション」とは、日本語の動作要件に記載されている製品(機能)が対象です。

Premium Edition 搭載モデルの利用例

Arcserve UDP 9000 v2 S に接続したテープ装置へ一次バックアップ。

Premium Edition にアップグレードする事で、Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズのストレージと同容量までのバックアップ対象データを **Arcserve Backup** で守れます。



※ 上記の構成ではテープ装置に接続するための SAS/FC オプション カードも必要です。

価格表（本体）

製品名称	価格（税別）	総額（税込価格）
本体製品（Advanced Edition 搭載モデル *1）		
Arcserve UDP 9200 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID5、12TBモデル)	¥7,100,000	¥7,810,000
Arcserve UDP 9200-6 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID6、8TBモデル)	¥6,300,000	¥6,930,000
Arcserve UDP 9220 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID5、24TBモデル)	¥9,100,000	¥10,010,000
Arcserve UDP 9220-6 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID6、16TBモデル)	¥8,100,000	¥8,910,000
Arcserve UDP 9400 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID6、40TBモデル)	¥13,500,000	¥14,850,000
Arcserve UDP 9420 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID6、80TBモデル)	¥18,100,000	¥19,910,000
本体製品（Premium Edition 搭載モデル）		
Arcserve UDP 9200 v2 S Appliance Premium Edition (RAID5、12TBモデル)	¥9,700,000	¥10,670,000
Arcserve UDP 9200-6 v2 S Appliance Premium Edition (RAID6、8TBモデル)	¥7,900,000	¥8,690,000
Arcserve UDP 9220 v2 S Appliance Premium Edition (RAID5、24TBモデル)	¥12,200,000	¥13,420,000
Arcserve UDP 9220-6 v2 S Appliance Premium Edition (RAID6、16TBモデル)	¥10,900,000	¥11,990,000
Arcserve UDP 9400 v2 S Appliance Premium Edition (RAID6、40TBモデル)	¥17,700,000	¥19,470,000
Arcserve UDP 9420 v2 S Appliance Premium Edition (RAID6、80TBモデル)	¥23,000,000	¥25,300,000

※ サブスクリプション（Subscription）ライセンスが同梱されていることから、製品名称に「S」を含んでいます。

前シリーズの 9000 v2 シリーズとお間違えなきようご注意ください。

※ 最新の価格表は <https://www.arcserve.com/ja/licensing-options> でご確認ください。

*1 Nutanix AHV、Nutanix Files 環境をご利用予定の方は購入時に申請していただければ無償で対応するライセンスを提供します。

価格表（オプションカード）

製品名称	価格（税別）	総額（税込価格）
オプション カード		
4 port 1GbE network card (4 x RJ45 Copper)	¥149,000	¥163,900
2 port 25GbE network card (2 x SFP28) - Mellanox MCX4121A-ACAT*1	¥136,000	¥149,600
2 port 10GbE network card (2 x RJ45 Copper) - Intel X550T2	¥316,000	¥347,600
HBA for Tape Devices - Broadcom SAS 9500-8e (2 x SFF8644 connector)	¥382,000	¥420,200
16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter (1 x 16Gb Fibre) – Marvell QLE2690-SR-CK *6	¥648,000	¥712,800
16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter (2 x 16Gb Fibre) – Marvell QLE2692-SR-CK *6	¥944,000	¥1,038,400

※ 最新の価格表は <https://www.arcserve.com/ja/licensing-options> でご確認ください。

※ 各製品にはケーブルは付属しません。別途ご用意ください。

*1 Mellanox社製の Direct Attached Cable または SFP+ / SFP28 トランシーバをご利用いただくことを推奨します。

*6 納品までに通常よりお時間をいただいております。詳しくは Arcserve ジャパン・ダイレクト または Arcserve 営業までご相談ください。

価格表（その他のオプション）

製品名称	価格（税別）	総額（税込価格）
ソフトウェア アップグレード オプション *1		
Software Upgrade to Premium Edition	¥3,200,000	¥3,520,000
Software Upgrade to Premium Plus Edition	¥6,400,000	¥7,040,000
Software Upgrade to Premium Edition (9400/9420 v2 S用)	¥6,400,000	¥7,040,000
Software Upgrade to Premium Plus Edition (9400/9420 v2 S用)	¥12,800,000	¥14,080,000
サポート オプション		
24時間365日 ハードウェア サポート オプション *2	¥1,780,000	¥1,958,000
Arcserve バリューサポート(1ヶ月) *3	¥111,000	¥122,100
Arcserve UDP 9200/9200-6 v2 S (12TB/8TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥53,000	¥58,300
Arcserve UDP 9220/9220-6 v2 S (24TB/16TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥93,000	¥102,300
Arcserve UDP 9400 v2 (40TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥129,000	¥141,900
Arcserve UDP 9420 v2 (80TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥267,000	¥293,700

※ 最新の価格表は <https://www.arcserve.com/ja/licensing-options> でご確認ください。

*1 Arcserve UDP Advanced Edition を上位 Edition にアップグレードするためのオプションです。

*2 弊社営業時間外の問合せ受付はハードウェアの問題に限ります。切り分け後にソフトウェアの問題だと判明した場合は、翌営業日以降の対応になります。

*3 バリュー サポートを同時に購入する事で、納品日より30日以内先の日付をメンテナンス開始日として指定できます。バリュー サポート期間中のテクニカル サポートは平日9:00-17:30での対応となります。

*4 HDD/SSDを修理交換する際に、故障部品を弊社に返却することなくお客様にお引渡しするサービスです。HDD/SSD障害と判断された場合にのみ有効なオプションで、ソフトウェア障害等には適用されませんのでご注意ください。また、ホルダーは交換・返却頂く必要がございますのでご了承ください。

もっと詳しく知りたい方は

Arcserve.com/ja のカタログ センターに掲載されている設定手順書やお客様導入事例、「よくある質問と回答」もご覧ください。

Arcserve カタログセンター

検索



UDP Appliance

UDP Appliance - カタログ:

[UDP Appliance 9000 v2 シリーズ製品カタログ](#)

[UDP Appliance 9000 シリーズ製品カタログ](#)

[UDP Appliance 8000 シリーズ製品カタログ](#)

[UDP Appliance 7000 シリーズ製品カタログ](#)

UDP Appliance - プレゼンテーション:

[UDP Appliance 9000 v2 シリーズご紹介プレゼンテーション](#)

[UDP Appliance 9000 シリーズご紹介プレゼンテーション](#)

[UDP Appliance 8000 シリーズご紹介プレゼンテーション](#)

[UDP Appliance 7000 シリーズご紹介プレゼンテーション](#)

UDP Appliance - よくある質問と回答:

arcserve®

FAQ / Arcserve UDP Appliance / Rev.1.2

よくあるご質問と回答

Arcserve® UDP 9000 v2 Appliance シリーズ

1. Arcserve UDP 9000 v2 Appliance シリーズ（以下 Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ）では標準でどの機能が使えますか？

Arcserve UDP Advanced Edition および Arcserve UDP Advanced Edition for Nutanix の機能が使えます。Arcserve UDP Premium Edition 以上の機能である「役割ベースの管理」や「ハードウェアスナップショット対応」などを使用するには、ソフトウェア・アップグレード オプション製品をご購入ください。

2. 仮想スタンバイやインスタント VM 機能を使用できますか？

はい、オプション不要で使用できます。パフォーマンスの観点で、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ とは別の仮想基盤に仮想マシンを作成することをお勧めします。

3. Nutanix AHV 上の仮想マシンや Nutanix Files を保護できますか？

はい、Nutanix AHV 上の仮想マシンのエージェントレス バックアップや Nutanix AHV を利用した仮想スタンバイ/インスタント VM、Nutanix Files のスナップショットと連携したバックアップが可能です。Nutanix AHV/Nutanix Files をご利用予定である事を Arcserve UDP 9000 v2 シリーズの購入時に [Registration form](#) に記入いただき、[無償アップグレード申請フォーム](#)でお知らせいただければ、必要なライセンスを提供いたします。

Arcserve UDP Appliance 導入事例

江別市役所様

Nutanix AHV と VMware のバックアップ一本化。バックアップの質が向上したことが一番の効果。

南足柄市役所様

バックアップ時間の大幅短縮
と、災害に備えた遠隔地での
データ保管を両立！

arcserve

Arcserve UDP Appliance 導入事例

南足柄市

バックアップ専用アプライアンスの導入で 課題を解消! バックアップ時間の大大幅短縮と 運用効率化を実現

神奈川県の西端に位置する南足柄市では、待機システムやそのインフラの運用管理で災害対応力を入れている。バックアップ運用では、通常保守のための LTO を利用していたが、バックアップに多大な時間がかかっていた。そうした中、同市は「データ保護に特化したアプライアンス」による効率化、Arcserve UDP Appliance を採用した。これによりデータバックアップ時間が大幅に短縮、二回バックアップした LTO で「2分」の時間がかかるようになった。直前のシステム更改では、バックアップ容量が 20TB に拡張。今後 6 年もかかる容量が用込まれることから大容量対応が求められ、Arcserve UDP Appliance はこの条件も満たすことができた。

製品	Arcserve UDP Appliance
目的	バックアップアプライアンスの導入 // バックアップ運用の効率化
課題	<ul style="list-style-type: none">LTO でのバックアップ時間がかかっていた。現在のシステムは、データの複数化に伴うできなくなる可能性バックアップデータの整理に伴うラテン化コストの懸念
成果	<ul style="list-style-type: none">データバックアップ時間は約 1 分間。LTO での二回バックアップアプライアンスとして有効活用バックアップデータの複数化に伴うデータの整理によるコスト削減バックアップデータの整理に伴うラテン化コストによる効率化の実現
課題	データ保護に特化したアプライアンス導入で、一次バックアップが直達で実現できる。LTO での二回バックアップにより効率化を実現

ユーザープロフィール

南足柄市

<https://www.city.mimatsu.saitama.jp/>

・実績：市役所

・設立年：1954 年（昭和 29 年 4 月 1 日）

・人口：2 万 8,000 人（2019 年 3 月 31 日現在）

・面積：約 10.5 平方キロメートル

・郵便番号：251-0011

・主要な産業：農業、漁業、林業、水産業

・主要な特徴：市役所、市立病院、市立図書館

丸和運輸機関 様

バックアップ運用コストを
年間457万円削減しながら、
事業継続体制を確立！

arcserve

Arcserve UDP Appliance 導入事例
株式会社 丸和運輸機関

「重要サーバのバックアップが取れない」を バックアップ専用アプライアンスで解決! 運用コストは年間437万円削減

株式会社 丸和運輸機関は、2011年に秋より「バックアップセンターを開設」。本社の業務システムの一環「バックアップデータ」を転送して運用保守する「クラウド連携運用実証実験」を実施。運用実績で得た「バックアップ・ソリューション」では、クラウド連携運用の実業問題を自ら抱えて導入した可能性を、「FT サーバ」のバックアップが取れなかったために、「クラウドとの接続コストも抱えて」という課題を抱えていた。Arcserve UDP Appliance に「フルスケールで FT サーバのバックアップが取れなくなることを心配」。重要運用環境「在庫管理」を抱えていたアプライアンスの運用面に伴う接続コストディスクレーブのコスト削減が課題。そこで Arcserve バックアップトーナメントの費用と合わせ、「在庫」の価値を踏まえ、運用コストを高減らしていった。

製品	Arcserve UDP Appliance
目的	BCP 対策 / コスト削減
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 可用性サーバ(FT サーバ)のバックアップが取れなかった。 ● バックアップのために大量の専用ディスクを購入する必要がある。 ● パンチング・保証書が発行されたため、運用コストが高くなってしまった。
導入 理由	最適化された「FT サーバ」が利用でき、運用方針に沿った BCPR 対策の導入が可能。さらに、運用負担(正確にいえば「アーフェクティーチャー運用」)コストの削減が可能。運用コストが年間437万円削減。
導 入 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ● 可用性サーバ(FT サーバ)を含む、すべての重要なデータを保護する「バックアップの壁」の構築。 ● バックアップ専用アプライアンスによる運用負担削減(年間437万円削減)。 ● 社内に「バックアップ」運用を覚える才能を磨くために、システムエンジニアリング部門を新設。 ● Active Directory リンク機能の導入で社内ノワウを蓄積
ユーザーオフィシャル	
 AZ-COM ネットワーク・システム・ITソリューション	
株式会社 丸和運輸機関	
https://www.morohata.co.jp	
*故障・障害	
*実績実績: 1953年(2024年3月時点) 在庫管理	
*運用負担削減: 丸和運輸機関(丸和太郎社長)、 サーバーリサイクルコスト(システム事業 部、企画部)、運用コスト(運用部、客室・新規顧 客)、BCP 対策費用	

* FT サーバ (Fault Tolerant Server): システム障害時に重要なデータを中断せずに連続して使用できるように設計された高可用性サーバ!

導入前にご参加ください：無償ハンズオントレーニング



お申込&詳細はWebで！

Arcserve セミナー

検索

